

2006 年度後期 授業評価アンケート結果

2006 年度後期の結果について学生によるアンケート調査を実施したところ、次のような結果が得られました。

[表1] 全授業平均

科目数 117 / 受講者数 6152 人 / 回答者数 5565 人

- ◆ 「教員の熱意が感じられた(4.15)」「この授業を受けてよかったと思う(4.05)」で 4.0 以上の高い評価が得られています。
- ◆ その一方、「自分は十分に準備をして授業に出た(3.42)」「学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)(3.64)」「授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析できるようになった」(3.67)などは 15 項目の中では低い数値に留まっています。

A. あなたのことについて教えてください。

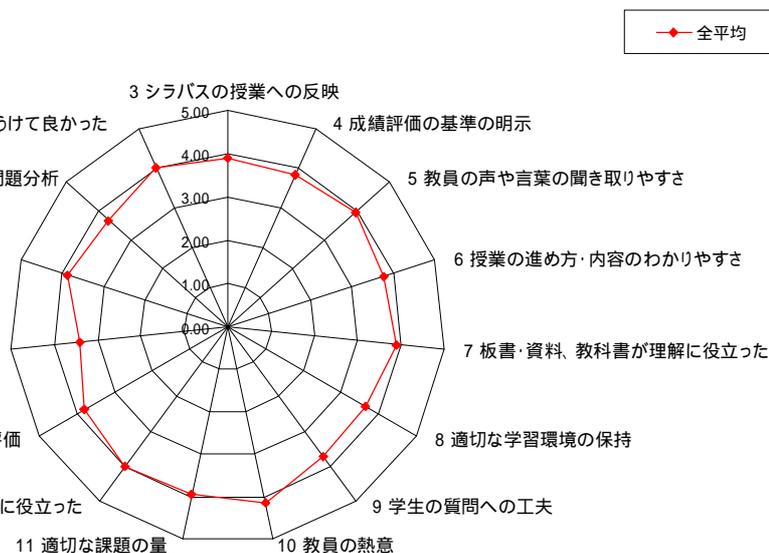
設問内容	1	2	3	4	5	NA	全平均
1 履修登録した時点でのこの授業に対するあなたの意欲	1:ほとんどなかった 2:あまりなかった 3:どちらともいえない 4:かなりもっていた 5:非常にもっていた						
	118	603	1993	1832	953		3.53
2 この授業では何回欠席しましたか	6回以上 4~5回 2~3回 1回 0回						
	59	197	1152	1362	2740		4.18

[評価基準] 1:全くそう思わない 2:そう思わない
3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う

B. 授業について教えてください。

3 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	31	83	1482	2692	1273		3.92
4 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	53	322	1509	2318	1350		3.83
5 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	103	376	1043	2051	1955		3.97
6 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	149	520	1307	2089	1460		3.76
7 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書などは授業内容の理解に役立った	88	289	1292	2181	1684		3.92
8 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	132	547	1738	1913	1225		3.64
9 授業中、授業外での学生の質問に対する教員の工夫がみられた	84	331	1963	1897	1275		3.71
10 教員の熱意が感じられた	51	167	928	2047	2247		4.15
11 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	23	91	672	1246	789	2723	3.95
12 課題の内容は学習に役立った	24	70	644	1138	843	2823	4.00
13 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	54	146	1776	2117	1239		3.81
14 自分は十分に準備をして授業に出席した	80	257	1017	796	339	3052	3.42
15 授業の内容に興味・関心をもった	107	315	1308	2248	1532		3.87
16 授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析できるようになった	98	366	1740	2072	999		3.67
17 この授業を受けてよかったと思う	84	216	1085	2147	2029		4.05
総平均							3.85

授業評価アンケート



2006 年度前期と後期の項目別のポイントの比較

* 2006 年度前期と後期の全授業平均を項目ごとに比べてみます。

質問内容	前期	後期	前回との比較
1. シラバスが授業に反映	3.84	3.92	
2. 成績の基準、事前にはっきり	3.79	3.83	
3. 教員の声、聴き取りやすい	4.06	3.97	
4. 授業の進め方、わかりやすい	3.73	3.76	
5. 板書、資料など、授業理解に役立つ	3.88	3.92	
6. 学習に適した環境、保たれていた	3.77	3.64	
7. 学生の質問に対する教員の工夫	3.72	3.71	
8. 教員の熱意	4.17	4.15	
9. 課題の量	3.94	3.95	
10. 課題の内容は学習に役立つ	3.90	4.00	
11. 学生の努力、公正に教員は評価	3.77	3.81	
12. 十分に準備して授業に出席した	3.49	3.42	
13. 授業の内容に興味・関心もった	3.86	3.87	
14. 様々な視点で分析可能に	3.59	3.67	
15. この授業を受けてよかった	4.05	4.05	
16. 総平均	3.85	3.85	

上記の表をみるとわかるように、15 項目のうち、前回(2006 年度前期)と比べて、学生からの授業評価の**ポイントが上がった項目は 9 項目**あります。

「課題の内容は学習に役立った(+0.1 ポイント)」

「授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた(+0.08 ポイント)」

「授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析できるようになった(+0.08 ポイント)」

「成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた(+0.04 ポイント)」

「教員の声や言葉は聞き取りやすかった(+0.04 ポイント)」

「学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた(+0.04 ポイント)」

「授業の進め方や内容はわかりやすかった(+0.03 ポイント)」

「課題の量(発表・レポート・政策・宿題等)は適切だった(+0.01 ポイント)」

「授業の内容に興味・関心をもった(+0.01 ポイント)」

“前期”と比べると、逆に、学生からの授業評価の**ポイントが下がった項目は 5 項目**あります。

「学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)(-0.13)」

「教師の声や言葉は聞き取りやすかった(-0.09 ポイント)」

「自分は十分に準備をして授業に出席した(-0.07 ポイント)」

「教員の熱意が感じられた(-0.02 ポイント)」

「授業中、授業外での学生の質問に対する教員の工夫(-0.01 ポイント)」

総平均は、前回と同様でした(3.85 ポイント)。

【表2】 欠席の少ない学生の全平均

対象者数 4102名(全体の66%)

欠席の少ない学生の平均の数値は、全平均とほぼ同じ数値でした。これは、2006年度前期の傾向と同様でした。

A. あなたのことについて教えてください。

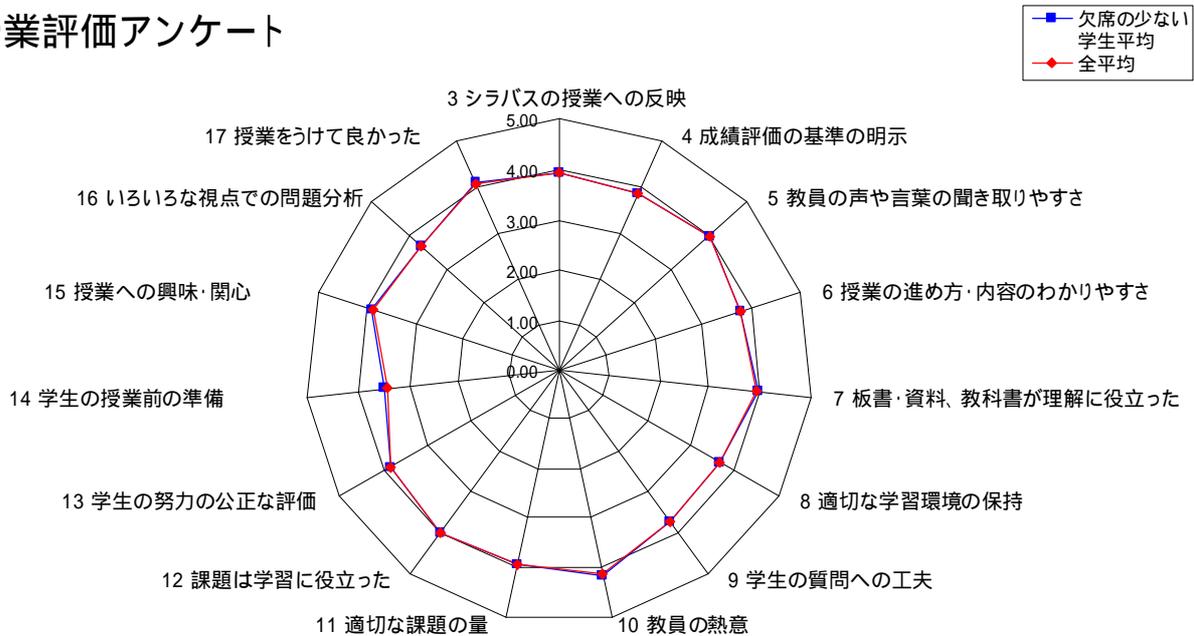
設問内容	1	2	3	4	5	NA	欠席の少ない学生平均	全平均	
1 履修登録した時点でのこの授業に対するあなたの意欲	1:ほとんどなかった 2:あまりもなかった 3:どちらともいえない 4:かなりもっていた 5:非常にもっていた							3.56	3.53
2 この授業では何回欠席しましたか	6回以上	4~5回	2~3回	1回	0回				
	0	0	0	1362	2740		4.67	4.18	

【評価基準】1:全くそう思わない 2:そう思わない
3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う

B. 授業について教えてください。

3 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	19	59	1073	2001	947		3.93	3.92
4 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	34	239	1095	1705	1019		3.84	3.83
5 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	61	279	753	1531	1453		3.99	3.97
6 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	106	373	936	1587	1071		3.77	3.76
7 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で 使用した教科書などは授業内容の理解に役立った	54	198	931	1625	1268		3.95	3.92
8 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入り などへの対応は適切であった)	95	410	1256	1420	912		3.65	3.64
9 授業中、授業外での学生の質問に対する教員の工夫がみられた	54	248	1435	1398	959		3.72	3.71
10 教員の熱意が感じられた	27	118	627	1541	1689		4.19	4.15
11 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	18	70	486	958	581	1973	3.95	3.95
12 課題の内容は学習に役立った	16	58	471	842	633	2066	4.00	4.00
13 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	37	103	1295	1587	911		3.82	3.81
14 自分は十分に準備をして授業に出席した	52	176	695	600	272	2292	3.48	3.42
15 授業の内容に興味・関心をもった	76	231	918	1672	1163		3.89	3.87
16 授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析で できるようになった	69	259	1253	1544	740		3.68	3.67
17 この授業を受けてよかったと思う	57	157	761	1584	1539		4.07	4.05
総平均							3.89	3.85

授業評価アンケート



【表3】 意欲のある学生全平均

対象者数 2785名(全体の45%)

授業に対して、意欲のある学生のほうが、そうではない学生よりも全ての項目に関して平均値が高いことが窺われます。この点も、2006年度前期の傾向と同様でした。

A. あなたのことについて教えてください。

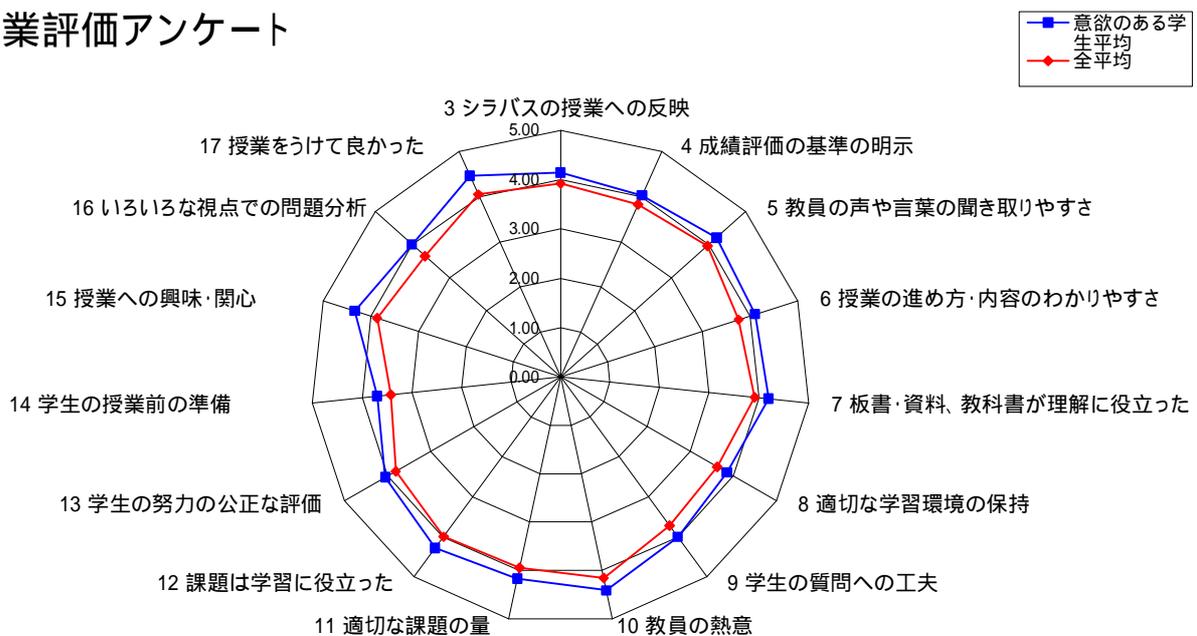
設問内容	1	2	3	4	5	NA	意欲のある学生平均	全平均
1 履修登録した時点でのこの授業に対するあなたの意欲	1:ほとんどなかった 2:あまりもなかった 3:どちらともいえない 4:かなりもっていた 5:非常にもっていた							
	0	0	0	1832	953		4.34	3.53
2 この授業では何回欠席しましたか	6回以上 4~5回 2~3回 1回 0回							
	28	97	527	663	1466		4.24	4.18

【評価基準】 1:全くそう思わない 2:そう思わない
3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う

B. 授業について教えてください。

3 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	7	20	435	1432	889		4.14	3.92
4 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	16	97	563	1213	891		4.03	3.83
5 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	26	113	382	960	1292		4.22	3.97
6 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	35	127	425	1086	1084		4.11	3.76
7 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使った教科書などは授業内容の理解に役立った	19	83	403	1091	1169		4.20	3.92
8 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	46	201	685	1011	835		3.86	3.64
9 授業中、授業外での学生の質問に対する教員の工夫がみられた	18	94	711	1004	952		4.00	3.71
10 教員の熱意が感じられた	10	41	261	912	1498		4.41	4.15
11 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	7	29	214	630	537	1356	4.17	3.95
12 課題の内容は学習に役立った	6	13	175	567	598	1411	4.28	4.00
13 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	14	43	600	1126	885		4.06	3.81
14 自分は十分に準備をして授業に出席した	19	79	398	462	250	1568	3.70	3.42
15 授業の内容に興味・関心をもった	10	34	246	1198	1269		4.34	3.87
16 授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析できるようになった	13	73	573	1206	792		4.01	3.67
17 この授業を受けてよかったと思う	13	33	203	956	1578		4.46	4.05
総平均							4.15	3.85

授業評価アンケート



【表4】 2年生対象の科目(重点領域)

対象者数 3675名(全体の60%)

2年生対象の科目(重点領域)の総平均は、3.89、全科目の平均値は3.85で、あまり差がないことが窺われます。

A. あなたのことについて教えてください。

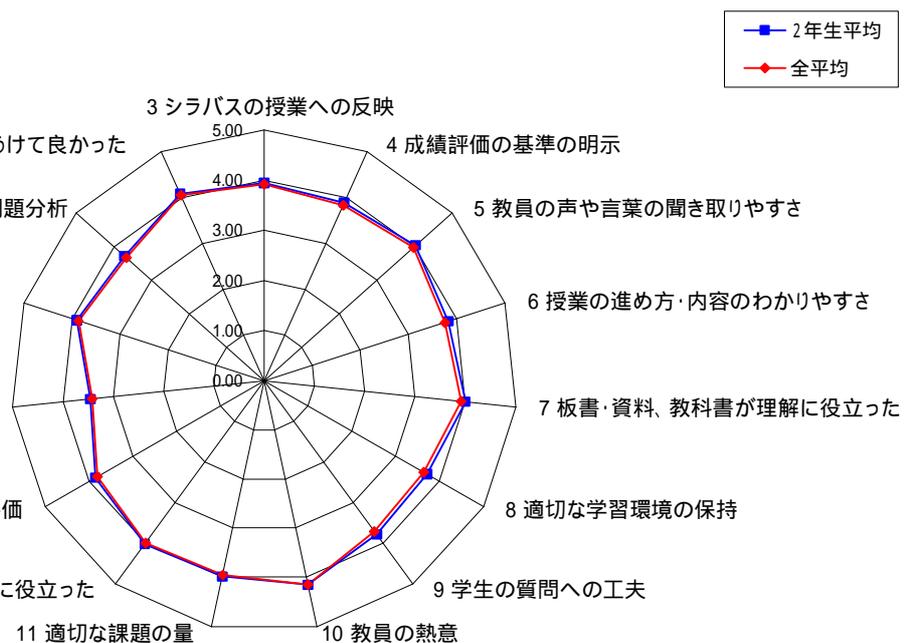
設問内容	1	2	3	4	5	NA	2年生平均	全平均	
1 履修登録した時点でのこの授業に対してのあなたの意欲	1:ほとんどなかった 2:あまりもなかった 3:どちらともいえない 4:かなりもっていた 5:非常にもっていた							3.58	3.53
2 この授業では何回欠席しましたか	6回以上 4~5回 2~3回 1回 0回							4.17	4.18

【評価基準】1:全くそう思わない 2:そう思わない
3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う

B. 授業について教えてください。

3 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	16	52	946	1783	876		3.94	3.92
4 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	27	182	958	1512	992		3.89	3.83
5 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	62	212	674	1309	1388		4.03	3.97
6 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	80	314	821	1369	1068		3.83	3.76
7 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で 使用した教科書などは授業内容の理解に役立った	45	154	785	1434	1236		4.00	3.92
8 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入り などへの対応は適切であった)	77	300	1105	1294	893		3.72	3.64
9 授業中、授業外での学生の質問に対する教員の工夫がみられた	50	183	1217	1285	933		3.78	3.71
10 教員の熱意が感じられた	34	116	621	1303	1525		4.16	4.15
11 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	12	55	475	956	593	1571	3.99	3.95
12 課題の内容は学習に役立った	11	48	457	866	618	1661	4.02	4.00
13 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	31	87	1128	1402	908		3.86	3.81
14 自分は十分に準備をして授業に出席した	48	172	667	554	241	1977	3.46	3.42
15 授業の内容に興味・関心をもった	60	188	868	1479	1054		3.90	3.87
16 授業で扱った問題に関して、いろいろな視点からとらえ、分析で きるようになった	57	214	1092	1426	706		3.72	3.67
17 この授業を受けてよかったと思う	46	129	718	1376	1404		4.08	4.05
総平均							3.89	3.85

授業評価アンケート

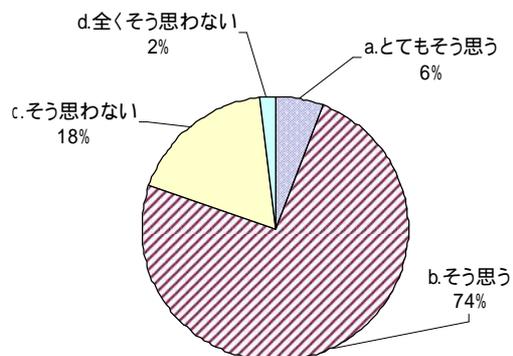


教員へのフィードバック・アンケート結果 回答率 86% (46人/53人中)

授業改善へつながったか？

- これまでの学生による授業評価が“**担当する授業の改善につながったかどうか**”について、教員の意識を示したのが下の表です。この表を見てもわかるとおり、授業の改善につながったと回答した教員は全体の約8割にのびます。

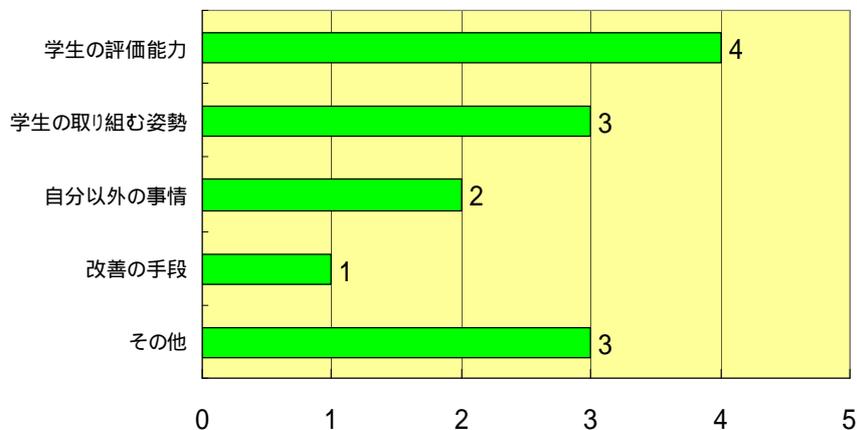
【表5】



- “**授業改善につながらない**”と答えた教員の理由は、「学生の評価能力(4名)」「学生の取り組む姿勢(3名)」「教員以外の諸事情(2名)」「改善の手段がわからない(1名)」「その他(3名)」でした。

【表6】

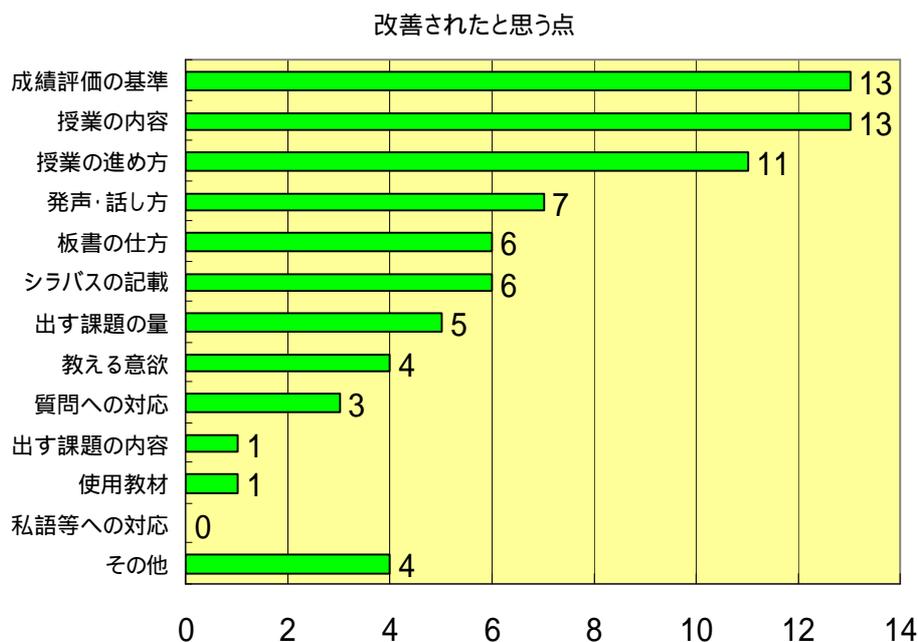
改善につながらないと思う理由



具体的に、どこを改善したか？

- “**具体的に、どのような点が改善されたと思いますか？**”という問いに対して、「成績評価の基準」「授業の内容」と答えた教員がもっとも多く(それぞれ13名)、次が「授業の進め方」という結果でした(11名)。学生による評価をみると、「成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた」「授業の進め方および内容はわかりやすかった」「授業の内容に興味・関心をもった」という項目のポイントは、前期と後期とを比べてみると、すべて上昇しています。教員の努力が結果として、学生からの評価が上がっていることの現れではないでしょうか。

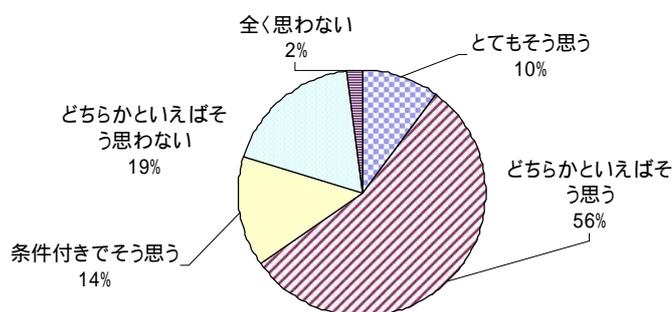
【表 7】



授業評価を続けることは、授業改善につながるか？

- “これまで通りの授業評価を続けることは、授業改善につながるといいますか”という問いに対する回答は、「どちらかといえばそう思う(56%)」「条件付きでそう思う(13%)」「どちらかといえばそうは思わない(19%)」「全く思わない(2%)」という結果でした。

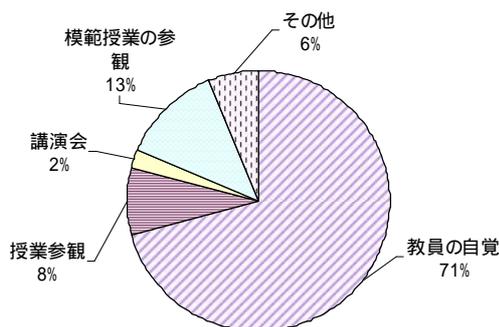
【表 8】



授業改善につながる最上の方法は何と思うか？

教員に対して“授業改善につながる最上の方法は何だと思いますか”と尋ねたところ、「教員の自覚」と答えた者が71%、「模範授業の参観」が13%、「授業参観」8%、「講演会」2%、「その他」6%という結果でした。

【表 9】



ま と め

大学教育センターでは、学生のみなさんの声を大切にしながら、授業をよりよいものにしていこうと願っています。学生には学ぶ義務があり、教員には授業を改善していく義務があります。これからも、みなさんの真摯な声をききながら、少しでもより良い授業にしていく仕組みを考えていきたいと思ひます。

今回、授業評価の集計を行って見て、2006年度前期の結果と比べながら感じたのは、教員側の努力を学生のみなさんも評価して下さっているということです。教員が具体的に改善した項目は、「成績評価の基準」「授業の内容」「授業の進め方」でしたが、学生の評価をみても、こうした項目のポイントはすべて上昇しています。私たち教員は、こうした結果を励みとしながら、これからも怠ることなく、授業を改善していく努力を続けていかなければならないと思ひます。

それと同時に、学生に期待したいことは、真摯な姿勢で授業評価を続けてもらいたいということです。この授業評価の取り組みは、学生一人一人の公平な評価に支えられています。もし、いい加減な評価をしてしまうと、授業評価の取り組みは意味のないものとなってしまいます。このアンケートが実りあるものになるかどうかは、評価する者としての学生のみなさんの自覚にかかっています。

2007年度には、原則として全教科にわたり授業評価アンケートが実施される予定です。一つ一つの教科を大切に、よりよいものにしていくには全てにわたって評価をしていただくことが必要だと考えたからです。

これからも大学教育センターでは、授業をよりよいものにしていくための、様々な取り組みを考えていきたいと思ひます。学生のみなさんのご協力を、よろしくお願い致します。